



1 ニオイの原因を探そう！

モワ〜っとただよってくる家の中の嫌なニオイ

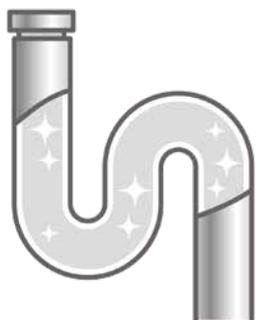
いくら部屋をキレイにしても、これでは失格。ニオイには、必ず原因があります。各部屋ごとに悪臭の犯人を探し出してから、対策を。



2 排水口のニオイ対策

ヌルヌルや汚れを一掃すれば悪臭も逃げていく

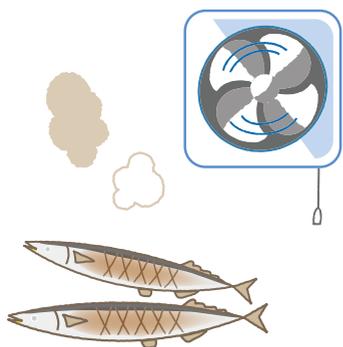
1日のキッチンの仕事が一段落したら、汚れを洗い流しておくこと。歯ブラシなどを使って、細かい部分の汚れも残さず取り除いておくことが大切。悪臭を一掃するなら、パイプ専用の洗浄剤が強力。手の届かない排水パイプの詰まりも取り除いてくれるので、見事すっきり。洗浄液を排水口にふりかけるだけだから、手間いらずです。定期的を使用すれば、ニオイの悩みとは無縁でいられそう。



3 グリルのニオイ対策

ひとつまみのお茶の葉が魚のニオイ消しに効果大

魚を焼く時に発生するニオイは、かなり強烈。換気扇を回し、グリルをよく洗うことは、生臭さを取るための基本ルール。さらに、意外なモノが消臭に役立ちます。使う前に、お茶の葉をひとつまみグリルに入れて焼くだけ。マスキング効果で、悪臭が緩和されます。使用後にはグリルがまだ温かいうちに茶がらを入れておくといい。嫌なニオイを追放できます。



4 ごみ箱のニオイ対策

ごみ箱は悪臭のたまり場。まめに洗うことは基本中の基本

ごみ箱の中は、生ごみ臭の最大の発生源。特に、夏場は腐敗の速度が早いから、ごみを出し忘れてしまうと大変。フタを開けたとたん、クラクラするほど強烈なニオイが襲ってくる。このニオイは、ごみ箱にも伝染。ごみ収集袋からこぼれた生ごみや汚水をつけたままだと、ニオイはどこまでも襲ってきます。単に中のごみを捨てるだけでは解決できないので、ごみ箱自体のお掃除も必ず。台所用中性洗剤でまめに荒い、よく日に当てて乾かす習慣をつけましょう。ごみ箱を清潔に保つことは、生ごみ臭対策の基本です。



新聞紙やポリ袋を活用して生ごみの消臭と予防

まず、生ごみは水気が多いほど腐敗しやすいので、捨てる時に水をよく切っておくことが大事。さらに、水気を取るために活用させたいのが新聞紙。特にニオイが強烈な肉や魚を捨てる時は、水気を切ってから新聞紙で包むのがコツ。新聞紙が水気を吸収してくれるので、悪臭の発生をおさえることができます。そしてもう一つ、空気に触れにくくすることも、腐敗防止のポイント。そこで、スーパーなどのポリ袋を活用。新聞紙にくるんだ生ごみをポリ袋に入れ、完全装備した状態でごみ箱へ。これで、悪臭対策は万全。水気をよく切る、空気に触れないようにする。この2点は必ず守って。

フタを閉める前に消臭剤をシュッとひと吹き

消臭には、やっぱり消臭スプレーが強い味方。基本ルールに沿って生ごみを捨てたら、フタを閉める前にシュッとスプレーの代わりにエタノールを使うのも手。霧吹きに入れてスプレーするだけなのでカンタン。捨てたあとのひと吹きで差をつけて。